



# 福岡空港の滑走路増設に係る 情報提供について

～パブリック・インボルブメント(P I)の実施～



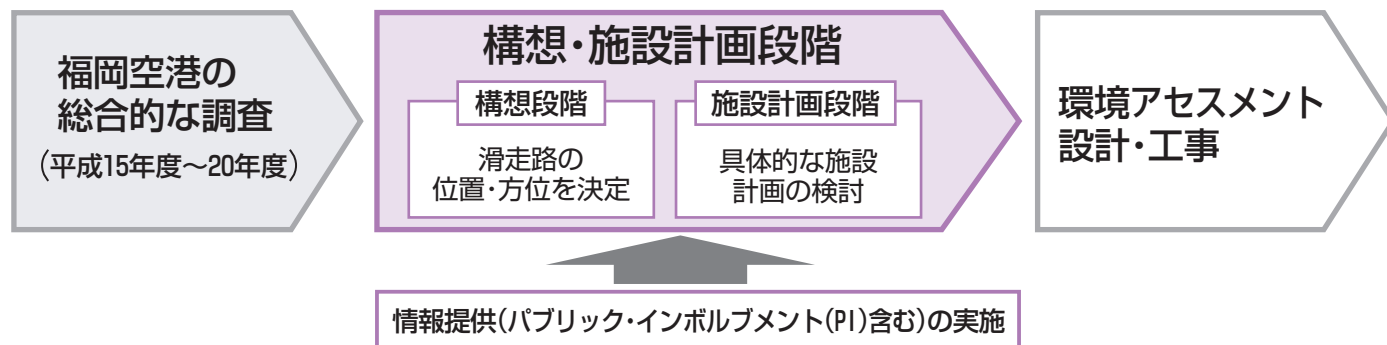
平成22年5月  
福岡空港構想・施設計画検討協議会

P I (パブリック・インボルブメント)とは、みなさんに積極的に情報を提供し、ご意見をいただきながら検討を進めていく方法です。

# 「構想・施設計画段階」について

国、福岡県、福岡市は、福岡空港の滑走路増設に向けて、検討を行います。

■ 今回の検討は、構想段階、施設計画段階をあわせて実施するものです。



● **構想段階**とは、幅広い選択肢から滑走路の概ねの位置、方位等の基本的な諸元に関するひとつの候補地を選定する段階のことです。

● **施設計画段階**とは、候補地が選定された上で具体的な施設の配置等の計画案を決定するための段階のことです。

■ この構想・施設計画段階では、福岡空港の総合的な調査において示された西側増設案(滑走路間隔210m)をもとに、滑走路や誘導路、ターミナル施設配置等の計画案を作成します。

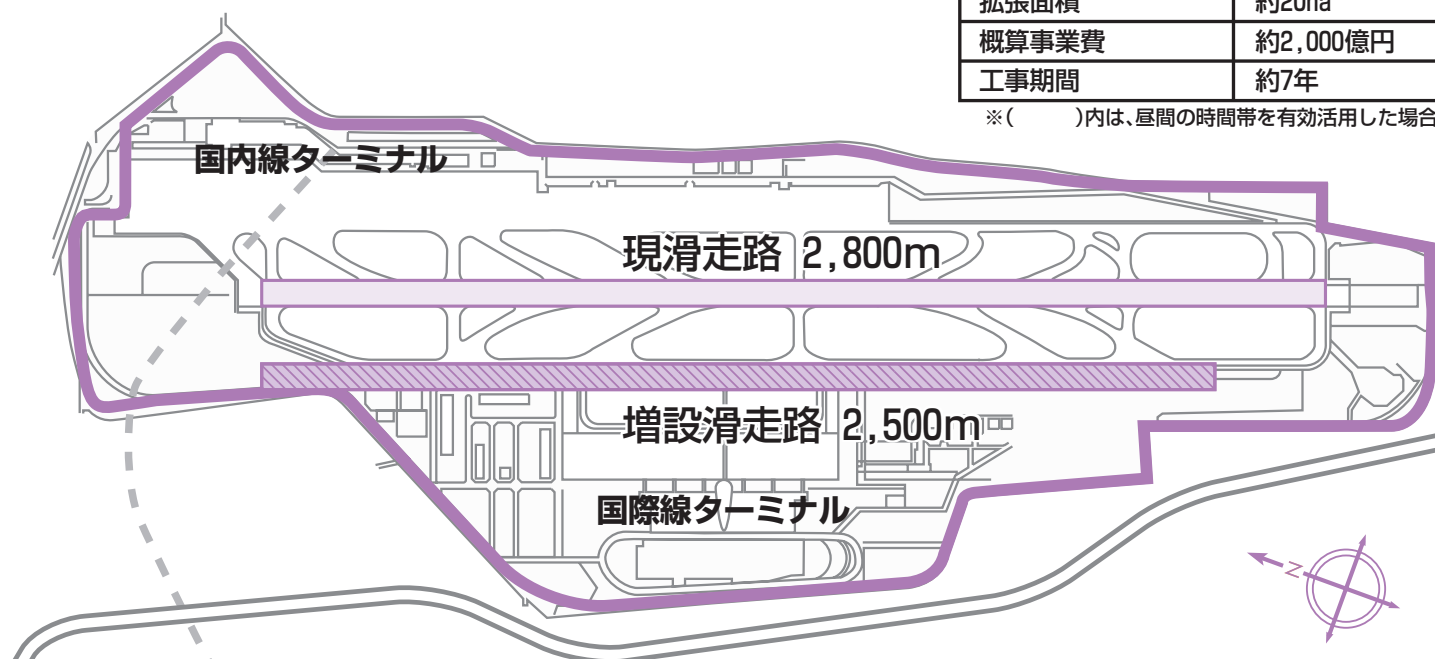
これについて、PIを経て、空港整備主体である国が、整備基本計画を策定し、環境アセスメントなどに着手していくことになります。



## 「福岡空港の総合的な調査」で示した西側増設案(滑走路間隔210m)の概要

滑走路処理容量	18.3万回/年 (19.7万回/年)
現滑走路処理容量 14.5万回/年との比較	1.26倍 (1.36倍)
拡張面積	約20ha
概算事業費	約2,000億円
工事期間	約7年

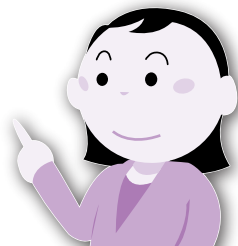
※( )内は、昼間の時間帯を有効活用した場合



# 「構想・施設計画段階」におけるP I 実施計画の概要

P I は、次の基本方針のもとに実施します。

- わかりやすい情報提供を行います。
- 中立・公正なP I を実施します。
- 適切なP I 手法を選定します。
- 適切な期間を設定します。
- 寄せられたご意見を公表します。



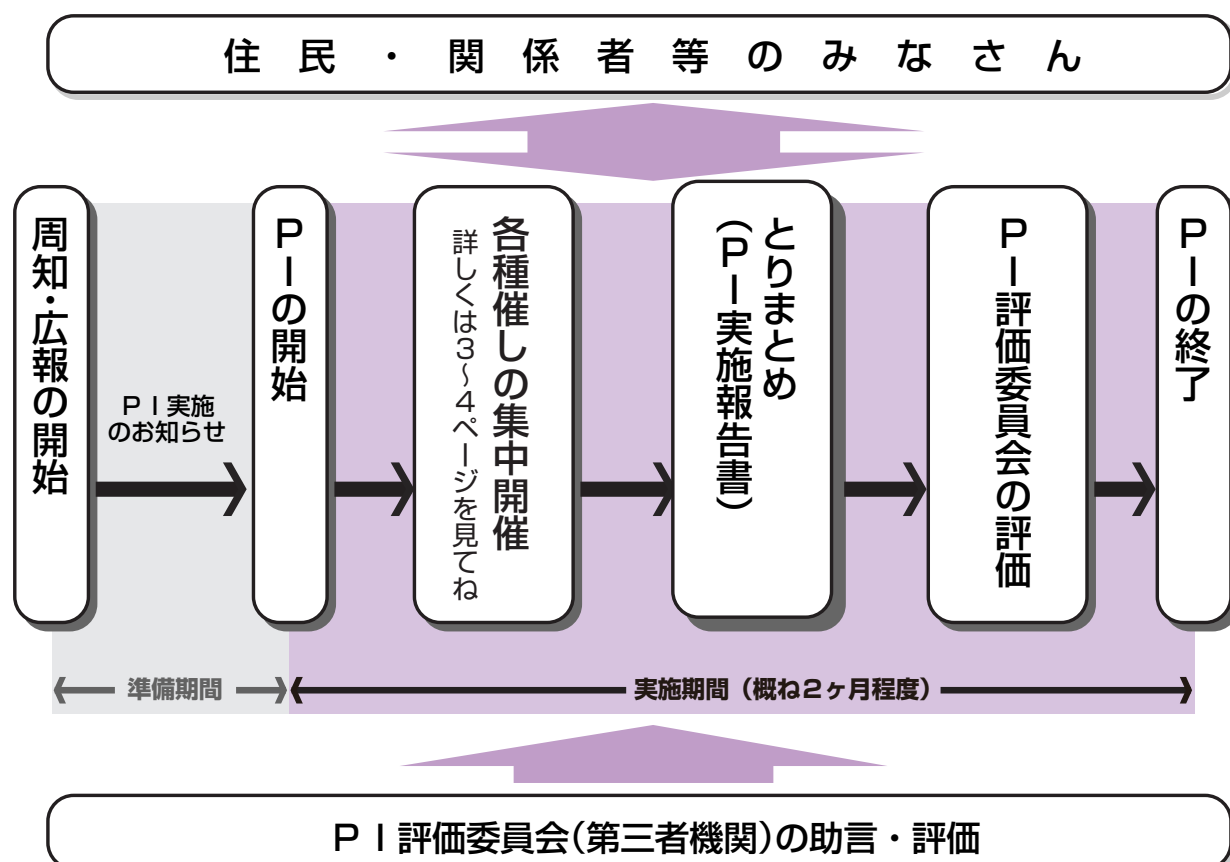
情報は、P I レポートとしてとりまとめて、提供します。

- P I では、福岡空港の滑走路増設計画案の関連情報について、P I レポートとしてわかりやすくとりまとめ、提供します。

- 提供する主な情報
  - ・施設規模の検討(航空需要等)
  - ・ターミナル等の施設配置計画案
  - ・事業効果及び空港周辺への影響 など

P I は、平成22年度に実施します。

- P I は、検討結果がまとまり、提供情報等の準備が整い次第、実施します。
- P I の実施期間は、2ヶ月程度を目安とし、住民・関係者等のみなさんの関心と参加が得られやすいよう短期間に集中して実施します。



# 「構想・施設計画段階」における情報提供等(P I 手法)

P I 開始に先立って、事前に「どこで」、「いつ」、「どういう活動」を実施するかお知らせします。情報を容易に入手でき、ご意見を出しやすい手法を実施します。福岡空港周辺地域住民及び空港利用者をはじめ、福岡空港に関心のある住民・関係者等のみなさんにご参加いただきたいと考えています。



※各種催しの詳しい日時や内容などについては、準備が整い次第、ホームページ(<http://www.pa.qsr.mlit.go.jp/fap/>)などでお知らせします。

福岡空港プロジェクト  検索 クリック



## 参考1：福岡空港の総合的な調査(平成15年度～20年度)について

平成14年の交通政策審議会航空分科会の答申の中で、福岡空港は将来的に需給が逼迫する等の事態が予想されるため、空港能力向上のための調査検討をする必要があると位置づけられたことを受けて、平成15年度から国・福岡県・福岡市は「福岡空港の総合的な調査」に着手し、平成20年度に終了しました。

この調査にあたっては、福岡空港の現状と課題など基本的なところから4つの段階(ステップ)を踏み、各ステップで積極的に情報を提供しながら意見を収集するパブリック・インボルブメント(P I)の手法を取り入れました。

この調査の結果、2010年代初期には滑走路処理容量に余力がなくなることが予想され、何も対応方策を実施しない場合、利用者利便性や地域の将来像の実現に影響をおよぼすことがわかりました。

そのため、抜本的な空港能力向上策である「現空港における滑走路増設」と「新空港」について、事業期間やコストなど様々な観点から比較評価した結果をP Iにおいて情報提供したところ、福岡空港における抜本的な対応方策の必要性について概ねの理解をいただくとともに、具体的な対応方策に対するご意見の傾向は、全体として滑走路増設に積極的な意見が新空港に積極的なものを上回りました。

### 地域の将来像

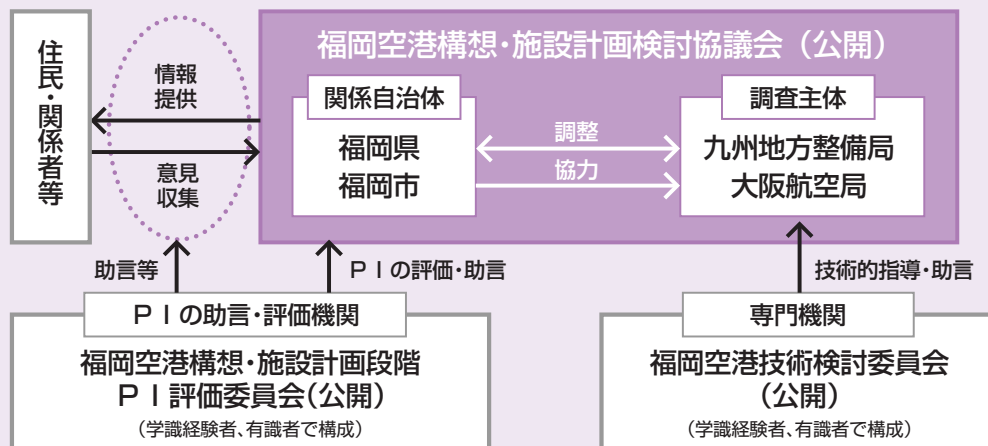
- 1☑成長する東アジアを中心とした国際社会と共生する地域
- 2☑国内外から多彩な人材を引きつける、多様な機会に富んだ地域
- 3☑地域性を活かして競争力のある自立した地域
- 4☑様々な人々が交流し、ゆとりと豊かさを実感できる地域
- 5☑ITを活かして優れた知識を創造し、国内外に情報発信する地域
- 6☑戦略的な社会資本形成によりグローバルな競争力をもつ地域
- 7☑都市の発展と環境への配慮が好循環した持続可能な地域

### 福岡空港の役割

- ◎ 海外・全国と福岡を結び相互交流の拡大を支える空港  
必要となる取り組み 航空ネットワークの拡充
- ◎ サービス向上を促進し、航空需要を支える空港  
必要となる取り組み 空港容量の確保
- ◎ 福岡の交通結節機能を活かし、速く・安く・快適な移動を支える空港  
必要となる取り組み 利用者の利便性向上
- ◎ 地域と共生しながら、福岡・九州の自立的発展を支える空港  
必要となる取り組み 幅広い航空利用と安全・環境等への配慮

## 参考2：滑走路増設の検討について

総合的な調査の結果やみなさんから寄せられたご意見等を踏まえ、平成21年5月、現空港における滑走路増設案について、以下の体制で構想・施設計画段階の検討を開始しました。



## お問い合わせ先

### 福岡空港構想・施設計画検討協議会 関係行政機関

国土交通省九州地方整備局(福岡空港PT)  
〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2-9-13東ビル3F  
TEL:092-432-0853 FAX:092-451-7396

国土交通省大阪航空局(空港企画調整課)  
〒540-8559 大阪市中央区大手前4-1-76  
TEL:06-6949-6469 FAX:06-6949-6218

福岡県(空港対策局空港計画課)  
〒812-8577 福岡市博多区東公園7-7  
TEL:092-643-3172 FAX:092-643-3217

福岡市(経済振興局空港整備推進担当)  
〒810-8620 福岡市中央区天神1-8-1  
TEL:092-711-4102 FAX:092-733-5558

ホームページ(福岡空港プロジェクト) : <http://www.pa.qsr.mlit.go.jp/fap/>